

第72回 通常総会

農畜産物支払高 39億2,128万円

本組合の第72回通常総会が5月22日午前9時30分から農協2階会議室で開催されました。本総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、規模を縮小した無来賓、議決権行使書面による議決を基本とした開催となりました。総会には正組員176名の内、委任・書面議決を含む128名が出席しました出席率72%。

令和元年度事業報告、令和2年度事業計画の設定など7議案を審議し、全議案が原案通り可決決定されました。

高橋組合長による開会の挨拶では、「春先は雪が非常に少なく、好天により播種作業は順調に進み、5月に強風や干ばつの被害はあったものの、6月以降は天候に恵まれ平年を上回る作柄でした。酪農畜産では良質な粗飼料が確保され生乳量や個体販売価格は堅調でしたが、残念ながら野菜では安値で推移致しました。

このような状況の中で、当組合の農畜産物の支払高は交付金を除いて39億2,128万円、経常利益8,716万円となり、計画以上の成果を上げる事が出来ました。これもひとえに組員皆様の日々の営農努力と組合への結集の賜物と深く感謝申し上げます。なお昨年と同様、経営基盤の充実を図るためにも出資増口にご協力下さいます様宜しく願い申し上げます。

令和元年度当期末処分剰余金8,500万円、剰余金処分案では出資配当(0・8%)、事業分量配当2,700万円の明細が示され原案通り承認されました。

令和2年度の収支計画では、事業総利益が5億1,000万円、経常利益は3,100万円を見込んでいます。

新年度の固定資産の取得については組員FAX端末機・新園芸システムの導入、野菜ハーブコンテナなど原案通り承認されました。



青年部 環境整備事業

6月18日に青年部の環境整備事業の一環として依田地区の農産物加工センター及びコンバイン格納庫周辺、春日町の小麦乾燥工場周辺、豊町の野菜集出荷センター周辺の草刈りが行われました。

青年部の環境整備事業は今年で9年目となり、総勢17名の部員が参加しました。

例年、作業終了後は懇親会を開催しておりましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、草刈作業のみとなりました。しかしながら、今年度最初の事業ということもあり、久しぶりに再会した部員同士が意見交換するなど、有意義な時間を過ごすことができました。

青年部の皆さん、ありがとうございました。



経営所得安定対策 加入申請受付

令和2年度経営所得安定対策の加入申請手続きが、6月18日より4日間の日程で農協2階会議室にて実施されました。

当組合における加入申請対象者につきましては、小麦・大豆・てん菜・でん粉原料用馬鈴薯の生産者となっており、今年度につきましては、90件（前年度90件）の申請受付を実施しました。

数量払につきましては、3年に1度の交付単価の改訂が行われており、大豆・でん粉原料用馬鈴薯においては引上げがありました。小麦・てん菜においては、引下げとなっております。尚、面積払につきましては、例年通り8月下旬頃の交付が予定されております。

